

第1回

参加費無料(定員200名)  
事前申込み要 →裏面へ  
講演会は当日受付も可

# 炎症性腸疾患 (IBD) 市民公開講座 ～最新治療と難病対策 (社会啓発) のこれから～

IBDの治療法は、この十数年で大きく様変わりしました。対処療法から免疫療法等へと移行し、通院で寛解期を長期化させる時代となったのです。一方で、障害者差別解消法が施行され、事業主側へ「合理的配慮」が求められるようになりましたが、未だに生き辛さの声は多方面から寄せられます。私たちが待ち望む社会とするために何が必要なのかを探る機会と致します。

日時 2019年  
12月8日 日 13:00-16:30 (12:30開場)

ウェルパルクまもと 1階「大会議室」 熊本市中央区大江5丁目1-1

開会式 13:00～13:10

挨拶 熊本IBD

祝辞 熊本市健康福祉局

会長 中山泰男

局長 田端高志

第1部

13:10～14:00

「IBDについて」

講師:副院長 野崎良一

(大腸肛門病センター高野病院 消化器内科)



第2部

14:20～15:10

「IBDの新規治療薬 (最新の治療法)」

講師:講師 直江秀昭

(熊本大学医学部消化器内科学分野)



第3部

15:20～16:30

シンポジウム「三つの課題克服に向けて」

コーディネーター 熊本学園大学 特任准教授  
発言者 熊本市医療政策課

大腸肛門病センター高野病院

キャリアコンサルタント

認定社会福祉士

患者会代表

加来 克之

中林 秀和

野崎 良一

田代 晋也

紫藤 千子

中山 泰男

主催:熊本IBD 共催:熊本市

協力:(社団)大腸肛門病センター高野病院

【個別相談会】

10:00～12:00

予約制のため、裏面に必要事項をご記入  
のうえFAX・メールにてお申込み下さい。